「僕の出会った詩人たち」#11　荒木田慧　　馬野ミキ

高円寺は無力無善寺で再開する詩の朗読のオープンマイクの共同主催者に
二回くらいしかあっておらずそれ程会話もしていなかった荒木田さんを誘い、受け入れられた
荒木田さんは新宿の路上で出会った人をこの催しに誘ったりして
例えば路上に生活していたりして本当にお金が無い人は、入場無料にしようという荒木田さんの提案に無力無善寺のマスターは納得してくれた
楽器やバックトラックは無し、マイクロフォンと言葉一本でいきましょうと事前の打合せで三人は合意した
だがすぐにコロナが来て、
それから荒木田さんは実家の都合で群馬へ帰った
コロナなんてまやかしであるという無善寺のマスター、これで店が潰れるかも知れない　そういう想いもあっただろう
主催者としてSNSで感染対策についてどのような立場を取ればよいか
都知事が「我慢の一週間」だとか言って東京タワーが変な色になったり
薬局のマスクが買い占められた
結局、詩だけではお客さんがが来ないという事で、マスターより「弾き語り等の人も受け入れよう」ということになったが
カラオケ大会のまとめ役をする気力はなく主催を辞退した

2021年9月、自分は「抒情詩の惑星」という詩のホームページを立ち上げた
が、小学五年で算数を諦めたくらいに自分は理数系がてんで駄目である
ホームページの更新作業で結局首を痛め変形性脊椎症という診断を受けた　いまも首はやばい
一文字、語句点の位置、一つの改行が
詩にとっては命取りになるので神経を使った
ファイルの形式やフォーマートによって、コピーペーストした作品は、ずれまくるのだ

荒木田さんに手伝ってくれないかと相談し、受けて貰えた
「抒情詩の惑星」はチェコのホームページサービスを使っているのだがこれがまあ痒いところになかなか手が届かなかったりで苦労した
荒木田さんとは時折、詩の話になりLINEで熱く語った

「これからは詩の時代がくる」

多分それは、ポエトリーリーディングのブームが来るとか詩が流行るとかそういうことではないだろう
もっと大きなくくり、人類とか意識の変容とか東洋思想とか、荒木田さんはそういうところを見つめているのだと思ったし
互いに、いわゆる詩の界隈の人々慣れ合わずある程度孤立した状況であるのはビジョンがあるからだろうと思う

「或るLINEでのやり取り」　荒木田慧　抒情詩の惑星より　https://poetry2021.webnode.jp/l/%e6%88%96%e3%82%8bline%e3%81%a7%e3%81%ae%e3%82%84%e3%82%8a%e5%8f%96%e3%82%8a/

荒木田はいま恋人と台北にいる
その恋人とは新宿西口の路上で座って話したこともあった
その時二人ははじめて出会ったそうだ
荒木田さんはフルートで何か演奏しており、自分はその後ひどく酔っぱらい
「これから私のまえではお酒を飲まないでね」というようなことを翌日LINEで言われた

新宿西口を通ると、たまに荒木田さんの知り合いの路上生活者が座っていて
財布の小銭を少し入れて話をする。